

西陵中・幌別西小 小中連携だより

発行：西陵中学校・幌別西小学校 小中一貫教育推進協議会 平成 29 年 9 月 7 日【第 2 号】

「この校区の子どもたちを 9 年間で育てたい」 今年度 1 回目の小中全体交流会を開催しました

8 月 25 日(金)に西陵中学校で行われた今年度第 1 回目の小中全体交流会。市教委・野崎参与より「小中連携の意義や一貫教育が求められる背景」について説明をいただいた後、グループに分かれて約 20 分間、途切れることなく活発な意見交流が行われました。今後は、この日話し合ったことを具体的に形にしていきます。



「これまで以上に、気軽にお互いの授業を見学しあえると良いですね。もっと子どもたちの日常のようすを知りたいですね。」

「小学校で伸ばしてきた力を中学校でさらに伸ばし、弱点は補強できるような手立てはないだろうか。」

「保護者参加の PTA 研修や講習などは、両校相互に呼びかけをしてはどうだろうか。」

「小学校と中学校、それぞれルールは違いますが、統一できるところは統一していきましょう。」



「お隣の学校同士、連携を密にして少しずつ前に進んでいけたらいいですね。」

「中学校入学後、スムーズなスタートが切れるよう、小学校高学年で準備しておくことはないだろうか。」

「小学校と中学校で見学場所や活動内容が重複しないように連携しましょう。」



地震から津波発生を想定した 「小中合同避難訓練」を実施

8月26日(土)の土曜授業中に地震が発生、小中それぞれのグラウンドに避難した後、津波被害から逃れるために高台に避難するという訓練を行いました。中学生が小学校のグラウンドに小学生を迎えに行き、手をつないで高台に避難するという予定された行動です。しかし、実際に津波がこの地域を襲って来た時には、建物が壊れていたり、道路がふさがれていたり、他に避難しようとする人たちや車で混雑したりして、予定通りにはいかないでしょう。

今年で3回目になる合同避難訓練でしたが、避難の仕方や避難にかかる時間が年々改善されていることは、たいへん素晴らしいことです。ただ、大切なのは「訓練は本番のつもりで真剣に、本番は訓練のつもりで冷静に」という気持ちです。避難中におしゃべりをしてしまったり、手を離してしまったりしたことなど、まだまだ反省すべき点があります。命を失ってしまえば、「また次の機会」はないということを肝に銘じていきたいですね。



小学校のグラウンドで小学生と中学生が手をつないで二人(三人)一組に



実際には高台まで登らず、入口を確認後戻ってきました



中学校のグラウンドに小中全員が集まり、市役所防災担当の方から講評をいただきました